

シンポジウム

『絶滅の危機を救う』

- 日本とインドネシアにおける絶滅危惧鳥類の保全活動 -



～日本とインドネシアにおける
絶滅危惧鳥類の保全活動～
2015.1.18 (sun) 13:00～16:30
会場 横浜情報文化センター6F 情文ホール
神奈川県横浜市中区日本大通11番地
お問合せ 横浜市繁殖センター 電話 045 (955) 1911
横浜市旭区川井宿町155-1
申込方法 当日、直接会場にお越しください (定員 200 名 参加無料)
主催: 横浜市繁殖センター / 共催: (公財) 横浜市緑の協会
協力: JICA 横浜 / 協賛: (公社) 日本動物園水族館協会、猛禽類医学研究所、Liferbird

横浜市繁殖センターでは、平成 15 年から、絶滅危惧種であるカンムリシロムクの保全を目的に、インドネシア政府と共同で「カンムリシロムク野生復帰事業」を行っています。

この事業を含めた絶滅危惧鳥類の保全活動について、多くの皆様に理解を深めていただくことを目的に、平成 27 年 1 月 18 日 (日) に公開シンポジウムを開催します。多くの皆様の御参加と取材をお待ちしています。

【概要】

開催日時	平成27年1月18日(日) 13:00~16:30 (開場 12:00)
開催場所	横浜情報文化センター 6階 情文ホール (横浜市中区日本大通 11)
参加料	無料
演題内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 動物園と希少種保全の関わり (よこはま動物園長) ◆ 横浜におけるカンムリシロムクの保全 (横浜市繁殖センター) ◆ インドネシアにおけるカンムリシロムクの保全 (インドネシア共和国) ◆ カンムリシロムクの野生復帰 (インドネシア共和国) ◆ トキの野生復帰について (環境省) ◆ 猛禽類の保護と野生復帰 (猛禽類医学研究所)

※一部変更の可能性がります。

参加方法 申込は必要ありません。直接会場にお越しください

問合せ先 横浜市繁殖センター TEL 045-955-1911

主催: 横浜市繁殖センター 共催: (公財) 横浜市緑の協会 協力: JICA 横浜

後援: (公社) 日本動物園水族館協会・猛禽類医学研究所・LiferBird

【参考】

横浜市繁殖センターについて

希少動物の保全及び繁殖を通して生物多様性の保全に貢献しています。これまで、カンムリシロムクの野生復帰やカグー等の飼育下繁殖に成功してきました。

また、国内の動物園としては初めての研究を目的とした実験設備を備え、希少野生動物の亜種判定や個体間あるいは種間の近縁関係、雌雄判別などに関する遺伝子解析や繁殖生理解明のための性ホルモン動態の解析など、「種の保存」に関わる研究を行っています。さらに、横浜市立動物園の動物からの精子、卵子、細胞の凍結保存、人工授精等を試み、遺伝資源の保存にも取り組んでいます。

(飼育動物)

カンムリシロムク、マレーバク、スバルバルライチョウ他（10種 166点 H26.10月末日）



(カンムリシロムク野生復帰事業概要)

インドネシアの固有種であり、絶滅危惧種であるカンムリシロムクの保全を目的に、平成 15 年、「カンムリシロムクの野生復帰計画に関わる横浜市とインドネシア共和国林業省との合意書」を締結、平成 16 年からは、JICA（独立行政法人国際協力機構）協力のもと、現地関係機関に対する技術協力を行っています。

また、これまでに繁殖センターで繁殖した 125 羽をインドネシアへ送致しました。これらの活動の結果、現地関係者の繁殖技術の向上や地域住民と協働した保全活動が開始され、平成 23 年度には環境整備等も含めた包括的な保全計画が策定されました。

今後は、野生下での生息数の増加を目標に、保全計画に協力していきます。

お問合せ先	
環境創造局 動物園課長 松寄 尚紀	Tel 045-671-2607